

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんキッズGrowth		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日		～ 2026年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 13日		～ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、必要な支援を行っている。	・開園したばかりで、利用児が少ないので、一人ひとりに合わせた支援内容を提供している。 ・子どもたちの年齢差があるので、午前午後でグループを作り、療育を行っている。	・子どもたちの特性や障害に対する理解を深めるため、年間計画に基づいた研修を実施する。 ・言語聴覚士・作業療法士等の専門職との連携を強化する。
2	・幼稚園併設なので連携が取りやすい。	・月末に幼稚園の各クラスの月案を提出してもらい、利用時間の調整を行っている。 ・幼稚園の集団の中での支援を行う。 ・幼稚園の子どもたちに対して、療育を受けている子どもたちについて理解を深めてもらうため、感覚の特性や支援について児発職員が話をする機会を作ったりできた。	・幼稚園の各クラス担任と定期的に情報交換会を実施し、支援方針の共有・統一を図る。 ・幼稚園児が児発事業所の活動に触れる機会を設け、相互理解を促進する。
3	・幼稚園の送迎時など、保護者と顔を合やす機会が多いので情報交換しやすい。	・積極的に保護者への声掛けを行う。 ・アプリで様子を伝え、連絡ノートに保護者からの相談や質問などを記入してもらい、その都度職員で話し合い返事を返している。 ・相談がある時は、いつでも受け入れる体制を取っている。	・保護者同士の交流の機会(交流会等)を定期的に設ける。 ・講演会や学習会の情報提供を積極的に行い、保護者支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性のスキルアップが不十分である。	・他事業との兼務職員は、研修や話し合いの時間が十分に取れない。 ・日々の仕事に追われて、職員全体で共通認識を図る機会が限られる。	・外部研修への参加機会を計画的に確保する。 ・園内研修を定期的実施する。 ・事例検討やケース会議を通じて共通理解を図る。 ・職員が意見交換しやすい環境づくりを進める。
2	・各マニュアルなどの周知が不十分である。	・個別支援計画を説明する時に話すようにはしているが時間が短く、詳しい内容までは伝えられていない。	・策定済みマニュアルについて、職員向けの研修・確認の機会を定期的に設ける。 ・マニュアルの内容を踏まえたロールプレイや事例共有を行う。 ・保護者への説明機会を確保し、理解促進を図る。
3	・地域との連携	・相談支援事業所とは、担当者会議等でつながりができているが、保健師、教育関係、児童発達支援センターなど、出会う機会がない。	・卒園児について、学校との情報共有・移行支援を行う。 ・保健師、教育機関、児童発達支援センター等との連携機会を意識的に設ける。 ・地域の行事や関係機関の会議等へ積極的に参加する。